

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第3回戸田市保健対策推進協議会
開催日時	令和5年11月29日(水)(午後1時30分～3時)
開催場所	戸田市福祉保健センター 集団指導室
出席者	<p>(委員)</p> <p>学識経験者(埼玉県立大学教授):北畠 義典 蕨戸田市医師会:早船 直彦 蕨戸田歯科医師会:板橋 裕 戸田市薬剤師会:成塚 康之 戸田市社会福祉協議会:松山 由紀 戸田市町会連合会:永井 富治 戸田市商工会:金子 秀一 公募による市民:前野 裕子</p> <p>(その他)</p> <p>株式会社つくばウエルネスリサーチ(TWR):鶴園 卓也</p>
欠席者 (委任状有)	<p>埼玉県南部保健所:安達 昭見 公募による市民:小川 敬洋 公募による市民:高橋 美幸</p>
事務局	福祉保健センター 木村所長、遠藤課長、石原課長、仙波課長、 長谷川主幹、新井主幹、野口副主幹、中島副主幹、宮崎主任
議題	<p>(1) 戸田市スマートウエルネスシティ推進プラン(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SWC 推進プラン(案)第1章について ・SWC 推進プラン(案)第2章(個別計画)について ・今後のスケジュールについて <p>(2) その他</p>
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・SWC 推進プランについて ・SWC 推進プラン1章 ・SWC 推進プラン2章

(会議発言の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>開会</p> <p>出席委員数報告をする。本日の出席委員数は 8 名、委任状提出 3 名。本協議会要綱第 6 条第 2 項により本協議会の会議は成立した。</p>
TWR	<p>SWC 推進プランの説明</p> <p>基本理念、位置付け、国の方向性、市の現状分析、市の特徴をふまえた 6 つの柱について説明。</p>
会長	<p>TWR から市に対して、この 6 つの柱が提案されたと理解しているが、市はこの方針を受け、どのように検討を進めてきたか。</p>
事務局	<p>まず TWR から 6 つの柱について提案があり、その後、TWR と市の両者で協議を続け、関係課にもヒアリングを行い、6 つの柱に紐づく施策の調整、表現等の調整を経て、現在の計画に至っている。</p>
委員	<p>計画を全て読み込んでいくと、市の特徴、目指す姿、施策が見えてくるが、これらの情報が集約された表などを作成してはどうか。</p>
TWR・事務局	<p>調整の上、表を反映する方向で進める。</p>
会長	<p>運動・スポーツを通じた健康増進という側面が強いような印象を受けたが、その点についてはどのように考えているか。</p>
TWR	<p>運動・スポーツに加えて、例えば、地域の通いの場における栄養や口腔の講座等、これは既に市で実施している施策であり、そのような施策も組み合わせて推進する計画と考えている。</p>
委員	<p>国交省ガイドラインの引用より、公園が多いと運動する人が多いという記述があり、それを前提としてみたとき、戸田市は公園の数が多いとされているが、健康寿命は短い、この点はどうみれば良いか。</p>
TWR	<p>市の関連する計画である公園リニューアル計画において、古くなった施設の改修や、公園を利活用する取り組みを進めており、それが進んでいくと変わるのではないかと感じている。</p>
委員	<p>モノだけ作っても活用されないということが課題だと感じており、今後活用が進んでいくと良いと感じた。</p>

会長	まさにウォーカビリティという言葉が歩きやすいまちづくりという意味で、欧米で用いられているが、住むことで自然に歩く仕掛けが重要なのだと、話を聞いて感じたところである。
事務局	健康増進計画、自殺対策計画の説明 指標の運動、飲酒、喫煙は改善がみられている一方で、健康意識が後退していることから、ポピュレーションアプローチを強化するという主旨で、無関心層に情報を届けるため、口コミによる健康情報の伝達を SWC 推進プランの計画にも位置付けている。女性に向けた運動意欲向上、ウエルネスマイレージ、キッズ健幸アンバサダー等にも取り組み、併せて市民の寛容性を高めていく。
事務局	食育推進計画の説明 食育推進計画においても、食育の木という理念を継承しながら、SWC 推進プランと一体的に推進していく。若い世代の朝食欠食率が高い等の課題に対し、普及啓発をより一層促進していくところである。
事務局	歯科口腔保健推進計画の説明 歯科口腔保健推進計画について、8020 に基づき推進を進めるが、戸田市では 80 歳代の健診データが無いこと等をふまえ、子どもの虫歯と大人の歯周病を計画の指標として設定している。
事務局	がん対策推進計画の説明 がん対策推進計画について、検診受診率・受診者数の向上を指標として設定し、これらの指標を達成するための施策を推進していく。
会長	質疑 飲酒のガイドラインが改訂されているので、具体的な計画推進の際は参考にできるのではないか。歯科について、かかりつけ医がいると健康寿命が延伸するという学術的見解がみられる、また国民皆歯科健診との連動はどのような状況か。
事務局	国民皆歯科健診については、2025 年から国が開始すると聞いている状況である。
副会長	健康寿命の目標値はどのように設定されているのか。
事務局	過去の伸び率を参照し、かつ県平均の健康寿命を超えるよう設定した。
委員	自分の住む地域では、外国の方が多く居住しているが、今回のアンケートでは何か結果がみられたか。
事務局	アンケートでその点は確認していない、次回アンケートで把握出来るか検討す

	る。
委員	以前と比べて「戸田市が良くなってるな」という印象は受けている。課題は前期・後期の医療費が高額なことと感じたがその点はどうか。
委員	医療費について、地の利からして、戸田市は都内の高度医療機関にアクセスしやすいという点はある。また、国保の資料で以前みたのは医療機関へのアクセスが医療費に影響するということが示されていた。戸田市は、地域の医療機関の数が多く、安心して医療機関に行きやすいという点はある。さらに収入が高いと医療にかかりやすいため、その点も関連しているのではないか。
会長	そのような視点で更なる分析がもしあれば、また次回ご報告頂くとよい。
会長	全体的な計画への感想として、行政において縦の仕組みは重要であるが、加えて、横をどうつなぐかという視点が非常に重要で、そうした意味ではこの計画は、従来の計画にない魅力を感じた。
事務局	本日の委員の皆様からの意見をもとに計画策定を進めていく。今後の取りまとめについては、事務局に一任頂くということで良いか。
各委員	異議なし
事務局	次回の開催について 2月下旬を予定している。